

質疑応答・意見の概要		
番号	質問・意見	回答
第1部（第三小体育館）		
1	開催会場が複数の場合は全ての会場で説明したことがわかるように情報開示するべき。	HP等でご確認できるようにいたします。
2	タウンミーティング開催にあたり町民全体にいきわたるように情報発信を丁寧にしてほしい。開催時間も短い。	毎年、何回か決まった月に開催することでタウンミーティングの時期を町民の皆様に認識してもらうことも検討します。また開催日が確定し次第、フェイスブック等のSNSや広報紙等で開催時期はお知らせします。開催時間も必要に応じて1回あたりを長く設定していきます。
3	認定こども園に入る年代の子どもの数は把握してるのですか。	平成28年度末で0歳～5歳児は606名です。
4	子育て世代に認定こども園の意識調査は実施したのか。	平成25年度に河合町子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、認定こども園の設立にあたる意識調査を実施しました。
5	認定こども園が出来ることを加味して将来設計もしている。延期なのか、このまま出来ないのか明確にしてほしい。	当初の開園時期が延期になり大変申し訳ありません。過去2回、認定こども園についての説明会を実施、様々なご意見をいただいているところです。子育て世代の多くの方々から早い開園を望んでおられることも認識しております。皆様のご理解を得て平成32年4月の開園を目指して参りたいです。
6	認定こども園だけではなく、小中学校も含めてお金をかけるべきでは。認定こども園が本当に素晴らしい環境に立地しているのか、また設計になっているかも疑問。	義務教育の間はバランスを考慮しながら一貫して考える必要はあります。今は認定こども園に力を注ぎ、学校統廃合により二小改修にシフトしていきます。施設集約による跡地で使えるものは使っていくことも検討しています。設計図等は今後の説明会でお示しします。
7	認定こども園の建設予定地は高台にあり擁壁を崩すのに多額の費用がかかる上に、急な階段・スロープの設置が予測され登園する子どもや保護者にやさしくない。ニュースポーツ広場やテニスコートの方であれば、平らで経費も安くより良い園が建てられるのでは	利便性を考慮し可能な限り平坦な階段・スロープの設置にします。また高台にある方が防犯面での安全性が高まります。建設候補地ですが、ニュースポーツ広場では斜面を削る他、地盤の整地の費用が発生します。更に、当該エリアではイベントの臨時駐車場や県

	ないか。	下でも盛んに行われているターゲットバードゴルフの会場としても使用されています。したがって現在予定している場所で考えています。
8	認定こども園開園に賛成の署名した方々だけが熱意あるということではなく、かなり勇気を持って、考えて反対の署名をしていることはわかってもらいたい。	貴重なご意見ありがとうございます。
9	認定こども園に関する説明会に2回とも参加した。平成31年度開園を前提に、かなり具体的な内容であったので信用していたのに。とにかく河合町で子どもを見てもらえる仕組みを整えてほしい。	大変ご迷惑をおかけしまして申し訳ありませんでした。多くの子育て中のご家庭のご意向と存じます。早急に対応して参りたいです。
10	財政状況で平成32年度くらいから経常収支比率、平成30年度くらいから将来負担比率は下がると見込んでいるが根拠は。また認定こども園を開園すると100世帯増えて税収も増えるという根拠は。	経常収支比率は支出と収入のバランスの比率ですが、支出について今後、定年退職者の増加による人件費及び起債の返済金の減額により数値は減少する見込みです。将来負担比率も主に、将来の負担と見なされる起債の残高が着実に減額することにより減少する見込みです。認定こども園開園による人口増としては、このことで子育て世代が河合町に住もうとさせていただいた時の受け皿として例えば学校統廃合による三小跡地に住宅地を開発すること等も検討しています。将来目標人口15,500人に近づくためには世帯を呼び込んでいく必要があります。
第2部（第二小体育館）		
11	財政健全化で経費削減と同じく税収も増やす必要があるのでは。例えば、学校統廃合による跡地や認定こども園開園に伴う幼稚園及び保育所の跡地等を住宅会社と連携して住宅開発することや駅前に商業地を誘致する等。また市街化調整区域を市街化区域に編入できるところもあると思う。それができれば税収増に繋がるのでは。	河合町ではパナホーム（株）と連携して「かわい浪漫プロジェクト」と銘打って住宅全般に関する取組みをしています。更に町内3駅周辺を中心とした活性化を図るために奈良県とまちづくり包括協定を結びたいと考えており現在進めています。また今年度、人口減少等の社会情勢を踏まえまして河合町都市計画マスタープランの改訂作業に入っています。ご意見いただいたことも参考にさせていただきます。

第2回タウンミーティング

12	若い世代が抜けていき高齢化が顕著であるが、将来目標人口 15,500 人を保つために具体的な対策はしているのか。また移住してもらうための営業活動を県外等でもしているのか。	お見込みのとおり、河合町では若い世代が抜けて40歳代から定住の傾向です。このまま推移すれば高齢化が更に進むため、転出した若い世代に戻って住んでいただく、或いは留まり住み続けていただくことを中心とした人口対策として「そうだ、やっぱり河合で暮らそう！」をキャッチフレーズに河合町街再生総合戦略を策定しました。これに基づき現在事業を進めています。また北葛城郡4町共同で「すむ・奈良・ほっかつ！」移住プロジェクトとして大阪にも出向きプロモーション活動をしたり、東京で開催される全国町村のPRイベント「町イチ！村イチ！」にも参加し営業活動を実施しています。
13	財政健全化によって町事業を休止する場合は明確に期限を設けるべき。また、外部監査は入れないのか。	財政健全化のご提案は承りました。監査については毎年、監査委員2名による定期監査・行政監査等を受けております。
14	認定こども園建設にかかる12億円のうち6億円は国から、残りは町からという根拠は。また、学校統廃合後の三小跡地に住宅開発をする計画があると聞いたが1戸あたり何坪を想定しているのか。	認定こども園建設にかかる12億円は20年償還の起債借入で毎年返済し、返済金のうち半分が当該年度に地方交付税として算入されますので、実質町負担は残りの分となります。つまり全体12億円のうち6億円が国支援、残り6億円が町負担となります。また、三小跡地を宅地利用した場合、1戸あたり約60坪の敷地を想定しています。
15	今後も河合町は赤字団体にならないと言いますが、どうなれば赤字団体になると考えているのか。	国が示す財政健全化を判断する基準の中に実質公債費比率があります。この指標は自治体の支出のうち、どの程度返済金が占めているか、またそれは毎年入るべき収入で賄いきれるのかを示すものです。25%以上で早期健全化団体、35%以上で財政再生団体となります。早期健全化団体となれば実質、国の監視下になり自治体の自由度はかなり低下しますので、河合町ではこの指標の25%以上となれば赤字団体としての1つの基準と考えます。認定こども園や二小改修等も含めた収支見通しでもピークで約22%となりその後減少していくと見込んでいます。

16	西大和ニュータウンは交通の利便性が高く非常に住みやすいため、今も大阪のベッドタウンとなっている。このことをもっと充実させて人口を増やす取組みをするべき。認定こども園建設予定地も人口の多い西大和ニュータウン地域内にすればもっと魅力が上がるのでは。	ご提案のとおり、現在河合町では西大和ニュータウンの住みやすさを前面に押し出し、当地域のブランド力に磨きをかけ、出て行った若者に戻って住んでいただく、或いは住み続けていただく取組みを進めています。また認定こども園へは通園バスをご用意しますので、ご不便は出来るだけおかけしないよう整えていきます。
17	財政状況の将来推移は、公共施設等総合管理計画でも残すとした施設の長寿命化経費や新しく建て替える施設の経費、県水移行に伴う経費、及びゴミ広域化に伴う経費等は反映しているのか。	庁舎の耐震化及び認定こども園建設経費は反映しています。上水道施設関係は特別会計、ゴミ広域化関係は事業費が確定していないので収支には反映していません。
18	認定こども園は本当に子育て世代に住んでもらえる魅力をもったものとなるよう考えているのか。	共働き世帯が多くなっていることを前提に通園バス、給食、長時間保育、更に障害を持ったお子様への対応など利便性を十分配慮して計画していますので入園者の確保はできると考えています。立地についても現場の先生方をはじめ保護者の方々からも自然豊かな環境が良いとのご意見を多数いただいていることから、現在の場所を選定し進めています。整った施設、広い園庭をはじめ広大な馬見丘陵公園に隣接した最高の環境で小さい時から質の高い情操教育・保育を受けることができます。
19	西大和ニュータウンの住みやすさのポテンシャルは高いので、認定こども園の開園と繋げてUR団地のリニューアルや新しい住宅提供をしていけば若い世帯に入ってもらえるのでは。	河合町ではUR都市機構とPR活動に関する連携をしています。そのなかで星和台UR団地で若い世帯向けの企画住宅「暮粋(くらしっく)」をURは提供しており、その情報発信について協力しています。この形も活かして、ご意見いただくことを仕掛けていきたいと思えます。
第3部 (第一小体育館)		
20	認定こども園や学校再編成について議会の否決が続いているが、議会からは代替案は示されていないのか。また町はそれに対してどのように動いているのか。	行政は政策提案しますが、議会の判断に対しては介入できないことになっています。しかし、認定こども園に対する説明をして理解を求めています。

第2回タウンミーティング

21	過去の認定こども園の説明会で駐車場が大きな問題とあったがその後の進捗状況は。	現在の職員駐車場を想定しております。認定こども園の先生方の駐車場を新たに設けることはありませんが、関係者以外駐車禁止の注意喚起を行いご利用の保護者の駐車場確保に努めます。
22	借入金のピークが138億円となっているが認定こども園が延期になった場合の、老朽化している幼稚園、保育所の改修費は加味しているのか。	抜本的な改修計画は現在想定していませんので138億円には加味していません。必要に応じて通常の修繕予算で対応していきます。
23	財政健全化していくには住民・議会・行政が三位一体となって将来を見据え、身を削る努力をするべき。今、まさに河合町ではこの姿勢が必要と思うが、行政と議会が仲良く円滑関係性が出来ていないので事業も進んでいないのではないのか。	地方自治制度では行政運営に対し議会が可否を決定する関係性も持っています。したがって政策提案に対し行政は議会に説明し理解を得る必要があります。一概に、仲が良いから円滑で、悪いから進まないということではありません。
24	財政見通しでは、各財政指標の数値が減少していくストーリーが描かれているが、税等の収入の見通しが不明確であり、説得力がない。収支を明確にして3カ年毎に示してもらわなければ理解しにくい。	平成32年度までに予定している主要事業が完了する予定で、それらも含んだ起債の返済金のピークも過ぎますので、以降減少していきます。収支見通しについて長期ビジョンは正確性に問題があることも踏まえ、わかりやすくお示しできるような今後の課題といたします。
25	議会には幹部職員は出席していないのですか。認定こども園の質問に対して答えていると思うが、行政と議会に距離感があるように感じる。なぜ反対されているかわかっているのか。	議会は大きく本会議と委員会があり、それには課長以上が出席しています。他に議会議員の方々に対して説明会も設けています。その場で何度も認定こども園の説明もしております。その上で議会が反対の判断をされたのであれば行政としては再度説明をして理解を得ていく必要があります。
26	大阪では10年前から認定こども園は既に出来ていた。今河合町で議論されていて難航しているが、早期開園を望む。	貴重なご意見ありがとうございます。承りました。
27	認定こども園が出来たから人口が増えるという根拠がわからない。	国の地方創生対策を基に、河合町の人口対策をまとめた河合町街再生総合戦略を策定しました。その中には認定こども園の記載があります。戦略の根幹は河合町の住みやすさを磨き上げていく、その中で子育て対策として認定こども園が必要としています。建設地を

		馬見丘陵公園に隣接し素晴らしい環境にすることで他の市町村ではまねの出来ない河合町の特長を活かした認定こども園とし魅力を発信させるという位置づけです。つまり戦略の事業を積み上げていくことで人口減少に歯止めをかけていけると考えています。
28	生産人口を増やすために認定こども園は起爆剤になると思うので早期開園が求められる。その意味では平成28年に議会で認定こども園の設計費の予算が承認されているのに、今反対というのはおかしい。財政状況が厳しいからという理由も聞いているが、そうであれば、設計費、本体工事費含めての起債に対し国から半分支援を受けることになると思うので中止となると設計費の分は全額町の負担になると考えられ、財政健全化の中で非常に無駄で余計な負担が加わることになる。この辺りをしっかり議論して進めてほしい。	設計費・本体工事費含めて起債の対象となっており、約半分は国の支援を受けられます。なお、設計完了後2年以内で事業化しなければいけないことになっており、しなければ設計費は全額町負担になると予想できます。
29	認定こども園が出来る前提で現場の先生方も保育の内容を考えたり、保護者も園専用のリュックを購入したりしている中で中止となれば、老朽化している幼稚園・保育所に子どもを預け続けることになり保護者はますます不安になる。認定こども園がいつ出来るのか、または出来ないのかははっきりしてもらわないと人生設計が狂ってしまう。	開園が延期になったことについてはご迷惑をおかけして誠に申し訳ありません。保護者の方々から早期の開園を求める声も聴いております。平成32年4月開園を目指して進めます。ただ、議会の承認が必要なことも事実です。議会には説明をして理解を求めて参りたいです。
30	河合町の住みやすさの向上に認定こども園も繋がると思うので、是非とも前向きな議論を議会としてもらいたい。	貴重なご意見ありがとうございます。承りました。
31	認定こども園に対するわかりやすい説明をした上で住民投票を行ってはどうか。	住民投票は長期間をかけますので現実的には厳しいです。今後も議会には説明をし理解を求め続けていきますが、それでも反対となれば、住民の信を問うことも考えています。